

「あいこう・ふなこ9条の会」ニュース

憲法公布
77年

国会前でも本厚木駅前でも「憲法活かせ、大軍拡反対」



国会正門前での集会 4000人が参加

憲法公布から77年となる11月3日の午後、国会正門前で「つなごう 憲法をいかす未来へ」をかけた、11・3憲法大行動集会が行われました。真夏のような日差しの中、4千人が参加し、厚木からも十数人が参加しました。集会の主催は「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」と9条改憲NO！全国市民アクションです。

集会には、社民党、れいわ新選組、立憲民主党、共産党、沖縄の風の各党の国会議員が参加し、連帯の挨拶をしまし



本厚木駅北口広場での宣伝

国会前の集会に先立ち、11時から約30分間、本厚木駅北口広場でも宣伝をおこないました。厚木市九条の会ネットワークなどによる呼び掛けで17人が参加し、持参したメッセージボードを掲げ、「大軍拡反対、9条変えるな、ガザへの無差別攻撃をただちに中止」を訴えました。

条改憲をストツプさせるには、労組と市民と立憲野党が力を合わせ、政権交代をめざそうと訴えました。

共産党の小池晃さんは、イスラエルによるガザへの無差別攻撃に対する国連総会での「人道的休戦」決議に、日本政府はアメリカに追随して棄権したことを強く批判。日本は今こそ憲法9条をいかした平和外交で貢献すべきだと訴えました。憲法学者の清水雅彦さんは、大軍拡と9

イスラエル軍によるパレスチナ人民の虐殺

ー今、己が問われているー

10月7日、パレスチナの Hamas が突如としてイスラエルに向け越境攻撃を仕掛けた。3千発以上ロケット弾を打ち込み、兵士・市民200人以上を連れ去った。この事を発端に、ここぞとばかりにイスラエル・ネタニヤフ政権はガザ地区に暮らす220万人の市民の「消滅」を狙ったかのような総攻撃を行っている。

有数の軍事力を保持し、実戦経験に長けているイスラエル軍は、陸・空・海の三方から攻撃を仕掛け、ガザの1万人以上の市民を虐殺してきている。その半数近くが子供達

で或る事が、私達に事の残酷性と深刻さを示している。インフラをことごとく破壊され、水、食料、燃料を遮断され、爆撃・銃撃に逃げ惑うパレスチナの人々の苦悩に想いを馳せる時、何とも言えない無力感に襲われる。

「テロは決して許されない」この合言葉のもと、数百万人の命を奪った国がある。

それに同調し協賛した国もあつたが、圧倒的な軍事力で報復した事を「国家テロ」と言えなくはあるまい。「自由・平等・博愛」の錦の御旗を掲げ、「不自由・不平等・偏愛」を、国が国民に強要していることを私達は、見抜いている。此れまで戦われてきた戦争は、「博愛」などとは全くかけ離れた残酷非道なものであり「国益」のために、守るべき国民の命を踏み台にして遂行されてきた。

相手に攻め入る隙を与えない国防力が、何時の間にか「攻めようとする国に先制攻撃を可能にする」国防力整備に取って代わられた。しかも国民多くが重税に喘ぎ、食うや食わずの生活を強いられるいるにも拘わらず、血税を人殺しの道具を買い漁る事に過ぎ込んでいる。

戦争はもう嫌だ！人が殺されていくのは見たくない！

一面に続く

イスラエル軍のパレスチナ人民の虐殺を止めよう！

人道危機が重大局面にある今日、私達の人としての資質が問われている。私は学生時代、1970年代に起こったアメリカの北ベトナム侵略戦争とそれを全面的に支援し支えた日本政府に反対した。反対の意志を表明しない事は、戦争を容認することになる、その様な己を許さない(自己否定する)。若く、幼稚だった私は自分を問い、同じ思いの学生と語り合い、行動を共にした。間違っではないなかつたと信じている。

私達に問われているのはイスラエル・パレスチナの殺し合いを止めるため、行動しない己を「自己否定」する事から始めなければならぬと思う、数十年前の若い私がしたように！

まさお

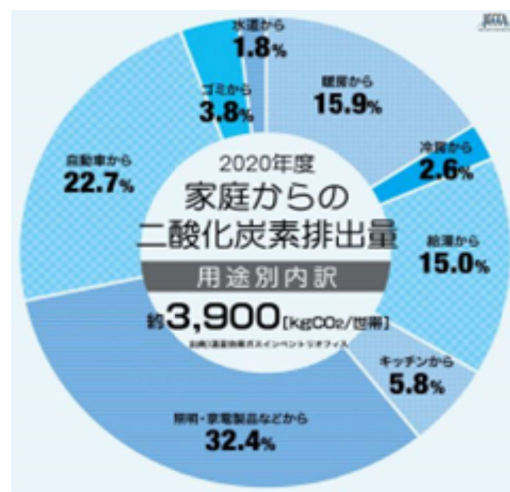
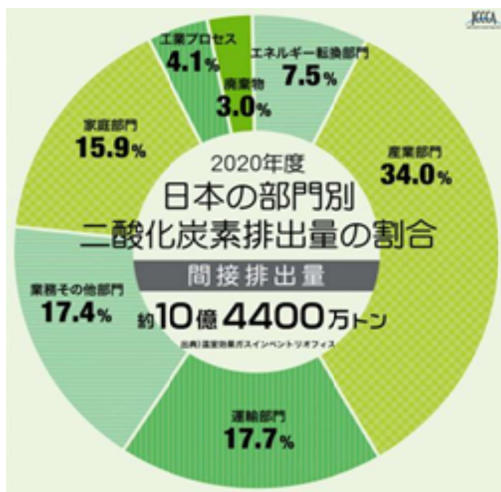


チョットサイエンス

異常気象と地球温暖化④

これまで3回に渡って地球温暖化の状況をお伝えしてきました。本気で温暖化をストップさせる行動を起こさないと大変な事態になることをご理解いただけたと思います。今回は最終回として、私たちに出来ることを簡単にまとめたいと思います。

地球温暖化の原因の一つといわれる二酸化炭素の我が国における2020年度分の排出量をみると、全体の約16%が家庭から排出されています。その内訳は、照明・家電製品などが約30%、自動車約23%、暖房が約16%、給湯が約15%となっています。(下表参照)



地球温暖化対策として家庭でもできること

ここでは温室効果ガスの排出を抑えることにつながる、家庭で取り組める省エネ対策をいくつかご紹介します。

電気の無駄遣いをなくす

エアコンは設定温度によって消費電力が大きく左右されます。そのため、夏は冷房の設定温度を下げすぎないように、冬は暖房の設定温度を上げすぎないようにしましょう。資源エネルギー庁では、夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にすることを薦めています。必要のない照明や家電はこまめに消したり、高効率蛍光灯やLED照明に交換するのも効果的です。

エコな電気を使う

再生可能エネルギーを使ったエコな電気に切り替えることも、温室効果ガスの排出削減につながります。再生可能エネルギーとは、太陽光・風力・

バイオマスなどのエネルギーを指します。温室効果ガスを排出せず(もしくは増加させず)に発電でき、資源が枯渇しないことから、世界中で注目されているエネルギーです。

住宅の高性能化

窓、床、壁、天井など外気と接する部分の断熱性能を高めることで、家庭のCO₂排出源の4分の1を占める冷暖房のエネルギー消費を大幅に抑えることが可能になります。単板ガラス(1枚のガラス窓)を、断熱効果の高いトリプルガラスの窓に換えた場合、熱の流出をおよそ80%抑える事ができると言われます。

最後に

これらは私たちに出来る事のほんの一部で、この他にもたくさん該当するものがあります。地球温暖化対策に関心を持って日々の生活を営みたいと思います。

市川隆雄